

第12回定例会議議事録

1 日時及び場所

2019年6月25日（火） 1600～ウッドオフィス部外会議室

2 参加者

吉田明生、名取禎、里雅之、柏木白光、佐藤慶太、杉山さとし、東谷淳、根本大介、星野渉、岡田満

3 議題

- (1) 企画趣旨ペーパー説明：吉田
- (2) 会場運営説明：里
- (3) 質疑応答

4 要旨

- ・企画の統一説明資料として、企画趣旨ペーパーを使ってもらいたい。
- ・具体的なイメージアップするには、竹田さんの作成した企画概要を使うと分かりやすい。
- ・運営は、里の基本イベント展開構成に基づいて、具体化、深化していく。
- ・会場運営に関する議論は、個別に調整することなく、毎週火曜日1600～開催する定例会議の場において行うことを基本にする。
- ・準備予算の執行権限は、吉田が持つ。

- ・防災グッズ大賞参加、出品は無料。
- ・出展は1ブース15万円を基準。交渉者の判断で柔軟に対応し、無料まで幅あり。

- ・防災グッズ大賞の準備が重要かつ遅れている。
- ・防災グッズの評価を説得力のあるものにし、社会的に信頼感のあるしっかりした審査員を整えることが必要だ。
- ・現在列挙している100点程度の防災グッズ大賞候補商品をさらに絞り込んで、表彰に値すると思われる商品を購入し、使用、評価した後、企業と調整することを基本とする。その方が、自信を持って、企業と話ができる。
- ・東谷以下3名（ウッド社員・契約×1、里・契約×1）で、ウッドオフィスに常駐者を置くような態勢をとり、企業の参加状況、防災グッズの出店状況等、現況を把握、管理、電話対応等をできるように整えたい。

- ・早急に、常駐の PC に、研究所事務局のアドレスを登録する必要あり。
- ・東谷は、防災グッズ商品を購入、(1 万円以内の防災グッズ商品は、自由に購入可) した後、テレアポ取り、企業訪問に着手する。
- ・各人はリストアップした商品のなかから今週中に候補商品を選択して、東谷に連絡する。
- ・商品は、1 個を早い時期にウッドオフィスに送ってもらって現品を確認し、展示用は阪急に送るようお願いします。

・イベントは、白光の「虹と和」の文字の揮毫をオープニングイベントとし、続いて代表理事による主催者挨拶、次いで防災グッズ大賞表彰式に入る。

- ・講話は、一コマ 30 分位が適切ではないか。
- ・入り口付近は、来場者、特に女性、子供が興味を惹くもの(恐竜等)を前面に配置し、農水省ブースは会場奥へ移動する。
- ・プロレスラー蝶野氏主催団体の AED 救急救命講習実施を調整する。(名取)
- ・東海東南海及び首都直下型地震のシミュレーション映像を使用し、映像を編集を検討する。(名取)

・防災グッズ展示エリアは、来場者に触ってもらおう場と見て楽しんでもらう場の配置のバランスが必要で、一律に構成するのは難しい。

- ・基礎施工と演出施工を区別し、工夫することが必要だ。
- ・会場内の配置、見せ方等は、展示物品、参加者等が決まるにしたがって、柔軟に変化ながら具体化していく。
- ・自衛隊が参加するのであれば、装備品の展示、映像資料や写真パネルの提供、その他をお願いするだけではなく、制服での対応等、前面に出てもらいたい。

・イベントの題字は、入り口に縦書きを、会場内に横書きを掲示する。生の題字をパネルにした方が、印刷よりも、迫力が出る。

- ・チラシはできるだけ早急に作成したい。来週の打ち合わせ時に一案を提示する。
- ・チラシはラックに入れるようになるので、縦書きの題字を一面に使用すると迫力があって見る人を惹きつける。
- ・チラシ裏面のイベントスケジュールについては、里が、佐々木と調整して決定する。
- ・パスポートタイプの小冊子は、郵便出版社に制作を依頼している。

5 来週の打ち合わせ

- (1) 7月2日(火) 1600～ ウッドオフィス部外会議室

(2) 内容

- ・チラシ
- ・防災グッズ大賞候補の絞り込み
- ・その他